

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

## DIC 株式会社（証券コード: 4631）

### 【据置】

長期発行体格付	A
格付の見通し	安定的
債券格付	A
劣後ローン格付	BBB+
発行登録債予備格付	A
国内CP格付	J-1

### ■格付事由

- グラフィックアーツ関連の材料に強みを持つ化学メーカー。色彩光学、分散、有機材料設計、高分子設計などを基盤技術とし、印刷インキや有機顔料で世界有数のシェアを有する。また、機能性樹脂や電子材料などでも高付加価値製品を揃える。古くから M&A を通じた海外展開に積極的で、現在、海外売上高比率は約 7 割を占める。持分法適用関連会社である太陽ホールディングスの株式非公開化に伴い、同社株式の売却を予定している。
- キャッシュフロー創出力の強化が進んでいる。足元では、消費財の需要減退の影響を受け、中核事業であるインキや顔料の出荷数量が弱含んでいる。もっとも、適切な価格転嫁や高付加価値製品の拡販により影響は抑制されている。また、近年ケミトロニクスなど成長分野の業績貢献度が高まっている。今後もそうした傾向は続くと考えられ、当面、業績は堅調に推移するとみられる。財務構成は健全であり、今後も大きく悪化する懸念は小さい。以上を踏まえ、格付を据え置き、見通しを安定的とした。
- 25/12 期の営業利益は 522 億円（前期比 17.2%増）。スプレッドを重視した販売価格の設定や、欧米顔料事業の構造改革でカラー&ディスプレイの営業損益が黒字転換したことなどが奏功し増益となった。26/12 期の営業利益は 560 億円（同 7.3%増）と、17/12 期の過去最高益に次ぐ高水準を計画している。カラー&ディスプレイで引き続き収益性の改善が進むほか、ケミトロニクスでの高付加価値製品の拡販が寄与する見通しである。原料価格や固定費などコスト上昇圧力が続く中、今後も適切な価格転嫁が進むか確認していく。
- 25/12 期末の自己資本比率（劣後ローン資本性考慮後）は 39.3%（前期末 35.2%）、ネット DE レシオ（同）は 0.7 倍（前期末 0.9 倍）である。利益の資本蓄積が進むなど近年の財務構成は改善傾向にある。長期経営計画 Phase2 計画（26/12 期～30/12 期）では通常投資および戦略投資（CVC 投資を含む）として 3,300 億円超の投資枠を設定している。中核事業や成長事業での収益拡大に向けた積極的な投資スタンスは維持されているものの、財務規律を重視する方針に変化はない。

（担当）藤田 剛志・田島 祥

### ■格付対象

発行体：DIC 株式会社

### 【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A	安定的

  

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第 38 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	50 億円	2016 年 7 月 12 日	2036 年 7 月 11 日	0.95%	A
第 39 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	50 億円	2016 年 9 月 15 日	2026 年 9 月 15 日	0.36%	A

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第40回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2017年4月21日	2027年4月21日	0.415%	A
第44回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2019年10月25日	2029年10月25日	0.280%	A
第47回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2021年9月22日	2027年3月19日	0.130%	A
第48回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	150億円	2021年9月22日	2028年9月21日	0.230%	A
第49回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	150億円	2021年9月22日	2031年9月22日	0.300%	A
第50回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	150億円	2023年4月20日	2028年4月20日	0.569%	A
第51回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	150億円	2024年4月16日	2029年4月16日	0.802%	A

対象	借入額	実行日	弁済期日	利率	格付
2020年3月31日付劣後特約付実行可能期間付タームローン	600億円	2021年9月30日	2081年9月30日	(注)	BBB+
2026年3月31日付劣後特約付タームローン	200億円	2026年9月30日	2086年9月30日	(注)	BBB+

(注) 実行日から10年後の応当日（同日を含まない）までの利息計算期間においては6ヵ月日本円TIBORに当初スプレッドを加算した利率。実行後10年後の応当日から25年後の応当日（同日を含まない）までの利息計算期間においては6ヵ月日本円TIBORに当初スプレッドおよび0.25%のステップアップ金利を加算した利率。実行後25年後の応当日以降の利息計算期間においては6ヵ月日本円TIBORに当初スプレッドおよび1.00%のステップアップ金利を加算した利率。

対象	発行予定額	発行予定期間	予備格付
発行登録債	1,500億円	2025年4月7日から2年間	A

対象	発行限度額	格付
コマーシャルペーパー	1,000億円	J-1

## 格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2026年7月6日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：里川 武  
主任格付アナリスト：藤田 剛志
3. 評価の前提・等級基準：  
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：  
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2024年10月1日)、「化学」(2022年6月15日)、「ハイブリッド証券の格付について」(2012年9月10日)として掲載している。
5. 格付関係者：  
(発行体・債務者等) DIC 株式会社
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：  
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。  
なお、本件劣後ローンにつき、約定により許容される利息の支払停止が生じた場合、当該支払停止は「債務不履行」に当たらないが、JCRでは債務不履行の場合と同じ「D」記号を付与することとしている。  
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。  
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
  - ・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
  - ・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：  
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 格付関係者による関与：  
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
10. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

## ■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であると問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であると問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

予備格付：予備格付とは、格付対象の重要な発行条件が確定していない段階で予備的な評価として付与する格付です。発行条件が確定した場合には当該条件を確認し改めて格付を付与しますが、発行条件の内容等によっては、当該格付の水準は予備格付の水準と異なることがあります。

## ■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

## ■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

株式会社 **日本格付研究所**

Japan Credit Rating Agency, Ltd.  
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル